

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17003	亀山駅周辺整備事業		課名	都市整備課 亀山駅前整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:都市づくりの推進			款	08:土木費
	施策の方向	02:活力ある市街地の形成			項	04:都市計画費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト		目		01:都市計画総務費	
事業予定期間	H 28 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等		都市計画法、都市再開発法、都市再生特別措置法		

② 目的・概要	対象	市民
	目的	市の玄関口であるJR亀山駅周辺の再生を進めることで、駅周辺のにぎわいづくりと活性化、利便性及び安全性の向上を図る。
概要	JR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化に向け、地域とともに駅周辺の再生に取り組む中、平成27年度に策定した亀山駅周辺市街地再開発推進計画に基づき、JR亀山駅周辺の整備を進める。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○2ブロック市街地再開発事業(組合) <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画作成、基本設計、地盤調査 ○4ブロック道路整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・用地・補償 ○4Aブロック優良建築物等整備事業(事業者) <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画、建築設計等 ○亀山駅周辺まち協支援業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○2ブロック市街地再開発事業(組合) <ul style="list-style-type: none"> ・権利変換計画作成、建物・営業等補償、建築設計、既存建物除却・整地、貸付金 ○駅前広場等整備事業(組合) <ul style="list-style-type: none"> ・詳細設計、用地・補償 ○4ブロック道路整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・工事 ○4Aブロック優良建築物等整備事業(事業者) <ul style="list-style-type: none"> ・整地・除却、補償等、建築工事 ○都市計画道路事業[亀山駅前線](組合) <ul style="list-style-type: none"> ・詳細設計、用地・補償 ○亀山駅周辺まち協支援業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○2ブロック市街地再開発事業(組合) <ul style="list-style-type: none"> ・既存建物除却、整地、施設建築工事 ○駅前広場等整備事業(組合) <ul style="list-style-type: none"> ・工事 ○都市計画道路事業[亀山駅前線] <ul style="list-style-type: none"> ・用地・補償、工事 ○亀山駅周辺まち協支援業務委託 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○2ブロック再開発事業の準備会設立、補助金の交付決定、準備会が基本設計等の業務発注 ○4ブロック道路(市道御幸8号線)の用地買収、補償交渉 ○優良建築物等整備事業の事業計画、建築設計等の補助金の交付決定 ○亀山駅周辺まち協支援業務委託の発注、各ブロック会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○2ブロック市街地再開発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計等の補助金交付等 ○4ブロック道路整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・建物補償及び工事の実施 ○4Aブロック優良建築物等整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計等の補助金交付 ○都市計画道路事業[亀山駅前線ほか] <ul style="list-style-type: none"> ・組合において詳細設計の業務発注 ○亀山駅周辺まちづくり協議会支援業務の発注及びブロック会議の開催 		
事業の計画・実績	計画額	事業費	183,900千円	1,480,400千円	480,300千円
		国庫支出金	72,200千円	747,700千円	267,550千円
		県支出金			
		地方債	64,400千円	614,900千円	162,300千円
		その他			
	予算額(※)	事業費	72,203千円	174,035千円	
		国庫支出金	22,792千円	53,148千円	
		県支出金			
		地方債	39,900千円	72,100千円	
		その他			
	決算額	事業費 ①	72,203千円	173,272千円	
		国庫支出金	22,792千円	53,390千円	
		県支出金			
		地方債	39,900千円	71,900千円	
		その他			
人件費	一般財源	9,511千円	47,982千円	0千円	
	総人件費 ②	7,679千円	31,132千円		
	一般職員	7,679千円	31,132千円		
	所要人員	1.00	4.00		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		79,882千円	204,404千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称 事業進捗状況	都市計画決定	4ブロック優良建築物等整備事業完了	2ブロック施設建築物整備着手
		活動	実績値	都市計画決定	事業実施中
		単位			
	②	名称			
		活動	計画値		
		実績値			
	③	名称			
		活動	計画値		
		実績値			
		単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 準備会と連絡調整を密にし、地域と行政がより一体となって具体的な再開発事業の検討や調整を進めるとともに、早期に組合設立ができるよう地域合意に向け、必要な情報提供や関係者と協議を行う。1～4ブロックの計画づくりのため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携を密にするとともに、具体的な活用について権利関係者等と協議検討を進める。市広報やホームページ等を活用し、当該事業の情報発信に努める。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 準備会と協議を密に行うとともに権利者との話し合いを随時行うことで、2月15日に三重県より組合設立の認可が得られた。また、亀山駅周辺まちづくり協議会の役員会(2回)やブロック会議(各2回)を実施し計画の検討を行うとともに、3ブロック権利者との事業推進に向けたヒアリングを実施した。さらには、事業について市広報6月1日号に特集を掲載するとともにホームページの更新を行い情報発信に努めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 組合設立に向けた権利者調整に時間を要し、組合設立が2月となったことから、組合における業務発注等が全体的に遅れたが、補助金の交付決定や施設建築物実施設計等の業務発注を年度内に完了した。4Aブロックの優良建築物等整備事業については、事業計画に関する権利者調整に時間を要し、全体的に工程に遅れが生じたが、年度内に建築設計を完了するとともに補助金の交付決定及び工事発注を行った。また、4ブロック道路(市道御幸8号線ほか1線)の工事については、補償物件の解体が遅れたことから、工程に一部遅れが生じたが、早期の完成に向け工事を進めることができた。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 市街地再開発組合の設立や、市街地再開発事業等の補助金の交付決定等、駅周辺のにぎわいや活性化に向け、事業を推進することができた。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 組合が2月に設立したことから、引き続き合意形成を図り、早期に権利変換計画認可が得られるよう、組合発注業務や組合員協議等への支援を行う必要がある。 また、亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、1～4ブロック整備計画を早期に整理する必要がある。 さらには、事業内容や進捗状況について、市広報やホームページ等を活用し、積極的に情報発信を行っていく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 組合や事業推進コーディネータと密に連携を図るとともに、組合員との協議や設計等の業務など、組合への支援を積極的に行っていく。 亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、権利者等との協議を密に行うとともに、道路等の公共施設の考え方についても具体的に整理していく。 また、組合等と連携し、市ホームページ等を活用した情報発信を随時行っていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 本事業による市街地再開発事業の実施や公共施設の整備により、本市の中心的都市拠点である亀山駅周辺の利便性と安全性が向上するとともに、にぎわいの創出が図られる。	
対応時期		令和元年度	

【1次評価者】	産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備グループリーダー 藤尾 春樹
【最終評価者】	産業建設部 都市整備課長 草川 保重

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B			
	成果	B	B			

※平成30年度予算額(事業費)の内訳について

予算額(事業費)		174,035 千円
内訳	平成29年度からの繰越額	112,381 千円
	平成30年度最終予算額	1,480,300 千円
	令和元年度への繰越額	△ 1,418,646 千円